

様式 C-19

科学研究費補助金研究成果報告書

平成 22 年 6 月 25 日現在

研究種目：基盤研究 (B)

研究期間：2007～2009

課題番号：19320129

研究課題名 (和文) 北シリアの紀元前 2000 年紀における農村の生活文化と祭祀

研究課題名 (英文) Daily life and Ritual of the North Syrian Village in the 2nd millennium BC

研究代表者 石田 恵子

(財団法人古代オリエント博物館・研究部・研究員)

研究者番号：30132757

研究成果の概要 (和文)：テル・ルメイラは 1975 年から 1980 年にかけて古代オリエント博物館が発掘した。ユーフラテス河中流域の中期青銅器時代から初期鉄器時代までほぼ継続する遺物変遷を明らかにし、土器編年を確立した。この地域の鉄器時代資料は大変貴重である。また住居毎の祭祀の場とされる家形模型が中期～後期青銅器時代にテル・ルメイラから複数例が出土している。祭祀に関わる他遺物や遺構との考察は現在研究途上にある。

研究成果の概要 (英文)：Excavations at Tell Rumeilah was carried out by the Ancient Orient Museum from 1975 to 1980. The results allowed us to study a long sequence of settlements and various artifacts dating from Middle Bronze Age through to Early Iron Age, as well as to establish a good ceramic chronology in the Middle Euphrates region. Among others, the Iron Age material remains are of great importance. Also discovered from Middle to Late Bronze Age levels were several house models which were presumably used in household ritual. Detailed studies on some other objects related to ritual practice and their possible link to architectural remains are now in progress.

交付決定額

(金額単位：円)

| | 直接経費 | 間接経費 | 合計 |
|---------|-----------|-----------|-----------|
| 2007 年度 | 2,100,000 | 630,000 | 2,730,000 |
| 2008 年度 | 3,000,000 | 900,000 | 3,900,000 |
| 2009 年度 | 1,300,000 | 390,000 | 1,690,000 |
| 年度 | | | |
| 年度 | | | |
| 総計 | 6,400,000 | 1,920,000 | 8,320,000 |

研究分野：考古学

科研費の分科・細目：基盤研究（B）

キーワード：考古学、北シリア、テル・ルメイラ、祭祀、生活文化、中期青銅器時代、後期青銅器時代、鉄器時代

1. 研究開始当初の背景

発掘データ、実測図面、発掘遺物の一部はあったものの、整理を進める人件費がなく、せつかくある発掘成果をまとめることができなかった。

2. 研究の目的

ユーフラテス河中流域の中期青銅器時代から初期鉄器時代にいたる集落遺跡の遺物編年を確立し、特殊遺物から祭祀の実態を探る。

3. 研究の方法

遺物台帳データをすべてコンピュータに入力し、遺物の検索が容易にできるようにした。遺物実測を進め、既にあった図面とともにコンピュータ・トレースを行った。遺構図面も同様にコンピュータ・トレースを行い、年次毎のデータと複数年次による同一層位の図面の統合も行った。

4. 研究成果

(1) 北シリアユーフラテス河中流域の中期青銅器時代から初期鉄器時代における遺物、特に土器編年が確立できたことは大きな意義を持つ。特にこの地域にはほとんどない初期鉄器時代のデータは貴重である。後期青銅器時代から鉄器時代への断絶について海の民などの関与が言及されてきたが、ほぼ存続するテル・ルメイラの例は地域研究に資すること大であると確信する。

(2) また、家形模型に代表される祭祀関係の遺物はテル・ルメイラのもう一つの注目すべき出土品であり、当時の庶民の精神生活を物語る。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 6 件)

石田恵子「テル・ルメイラ出土の家形模型について」古代オリエント博物館研究紀要 27 巻 2008 1-22 頁

津村眞輝子「シリア、ミシヨルフェ遺跡出土ローマコインの概報」古代オリエント博物館研究紀要 27 巻 2008 117-126 頁

石田恵子「テル・ルメイラ周辺の前期青銅器時代の墓について」古代オリエント博物館研究紀要 28 巻 2009 65-90 頁

石田恵子「テル・ルメイラ出土の家形模型について (2)」古代オリエント博物館研究紀要 29 巻 2010 1-10 頁

津村眞輝子「Relationship between Score marks and Counter marks on the Sasanian silver coins」古代オリエント博物館研究紀要 29 巻 2010 35-48 頁

津本英利「テル・マストゥーマのアケメネス朝遺物について」古代オリエント博物館研究紀要 29 巻 2010 11-22 頁

[学会発表] (計 0 件)

[図書] (計 0 件)

[産業財産権]

○出願状況 (計 0 件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

○取得状況 (計 0 件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

[その他]

ホームページ等

6. 研究組織

(1) 研究代表者

石田 恵子 (ISHIDA KEIKO)
古代オリエント博物館 研究部 研究員
研究者番号 : 30132757

(2) 研究分担者

岩崎 卓也 (IWASAKI TAKUYA)
古代オリエント博物館 館長
研究者番号 : 30015383

脇田 重雄 (WAKITA SHIGEO)
古代オリエント博物館 研究部 研究員
研究者番号 : 00175069

津村 眞輝子 (TSUMURA MAKIKO)
古代オリエント博物館 研究部 研究員
研究者番号 : 60238128

津本 英利 (TSUMOTO HIDETOSHI)
古代オリエント博物館 研究部 研究員
研究者番号 : 40553045